



ニュースで伝える全麵協の今

発行:全麵協ニュースフラッシュ編集グループ
編集責任者:専務理事 赤羽 章司

令和5年度全麵協第4回理事会 開催報告

令和5年9月27日(水)午後7時から、リモート会議による第4回理事会が開催されたので、概要をお知らせします。

(1) 報告

- ① 人材育成研修会～原事務局長
3回の研修を実施済み。今後は3つのワーキングチームで、3つの課題の検討を進める。
12月に報告会を開催する予定
＜全員了承＞
- ② 五段位認定会（新得町）の進捗状況～守田支部長
受験者112名、8班編成、1組14人で、27日は北海道内の受験者の意見発表から29日まで行う。
＜全員了承＞
- ③ 五段位全国大会の進捗状況～山本実行委員長、各委員長
○事業委員長
出展については6ブースの申し込みがある。
○総務委員長
全麵協ブースでは、受付事務のほかDVD、書籍、そばのお菓子等を販売する。
○経理委員長
収支は月末までにはまとめる予定である。
○運営委員長
配置図の避難経路を直線にした。
スタッフは、首都圏のスタッフ35名と運営委員7名、慶大生10名
○大会誌委員長
10月31日が納品予定
○経理部長
広告料・協賛金、役員等の寄付金が予算よりも多く入ってきている。支出では予算の範囲内に収まる見込みである。
- ④ 予算の執行状況～萩原経理部長
収入では、会費収入が1%の増、事業収入は予算の6割が収入されている。支出では、直轄事業費については70%の執行率となっている。粉の売り上げの状況は、現在1300万円程度の収入がある。
＜全員了承＞

(2) 議題

- ① 各種規定の施行について～原事務局長
○事務局長
労働契約通知書（1年毎更新）・就業規則・コンプライアンス管理規程・コンプライアンス管理委員会規程について提案説明をする。
○身元保証人、マイナンバーカード、定年退職年齢、安全・衛生管理者について質問があった。
→法律の専門家と相談し対応する。
○施行日を10月1日からとしたい。
＜全員承認＞
- ② コンプライアンス管理委員会の開催について～赤羽専務理事
○10月中に委員の委嘱をして、11月には第1回の委員会を開催したい。

○主な質疑
・委員会の事務局はどこになるのか。→総務部になる。
＜全員承認＞
- ③ 当面の課題について～山本副理事長
○粉の販売業務の実施を外部委託したことに関して、委託の実態がないといった投稿がなされたことについて、どのように対応したらよいかについて意見を伺った。
- ④ 次年度の事業計画・予算案・役員改選について～赤羽専務理事
○具体的に決まっている事業がないので、次回理事会で検討してゆきたい。

(3) その他 特になし

各支部から

そば作付面積全国一の北海道幌加内町で新そば祭り & 手打ちそば名人大会開催

第28回幌加内町新そば祭りが9月2日3日の両日、幌加内町役場周辺で開かれた。

コロナ禍前の規模で開幕し、2日は2万人、3日は4万9千人（主催者発表）が訪れ、収穫したばかりの香り高い新そばに舌鼓を打った。道内外から14店が参加し、新そばを提供した。

1日目の2日には、幌加内高校体育館にて、「北海道素人そば打ち名人大会」「女流名人大会」「青少年名人大会」が開催されました。

一般の部の名人には、加地幸子さん（北檜山手打ちそば愛好会）が、女流名人には橘井美智子さん（北海道そば研究会）が、青少年の大会には、幌加内高校生も挑戦しましたが、同校の先輩である西村光大さん（幌加内そば工房坂本）が名人位に輝きました。



（北海道支部広報渉外担当 高谷晶美）

四段位認定会開催報告

令和5年度そば道四段位技能審査西桂町認定会の開催報告



そば道四段位技能審査中日本支部西桂町認定会が9月24日山梨県南都留郡西桂町にて開催されました。

山梨県では初の認定会でしたが、地元三ツ峠そば打ち愛好

会のスタッフを含め31名のスタッフにて問題なく進行することができました。会場も空調が整っており、受験者は気温を気にせず実力を発揮できたのではないかと思います。

開会式では、西桂町町長 山崎 泰洋様のあいさつも頂き、西桂町の町を挙げての認定会になったと感じました。

今回の受験者は41名、4組に分かれ皆さん今まで練習してきた成果を出し切って頑張っていました。審査発表時には廣澤審査員長から、各工程での注意事項を細かく説明を頂き受験者は皆さん真剣に耳を傾けていました。

今回受験者41名中、22名の方が合格されました。



（中日本支部段位認定部長 五十嵐 久隆）

令和5年度 全麵協そば道四段位技能審査 宇都宮認定会実施報告



祝辞をのべる福田富一栃木県知事

令和5年度、四段位技能審査会を主催一般社団法人全麵協、主管を栃木県内全域の会員で構成する栃木県そば振興協議会（堀内信夫会長）で実行委員会を組織し令和5年9月17日（日）栃木県宇都宮市清原工業団地管理センターにて（〒321-3231 栃木県宇都宮市 清原工業団地15番地1）東日本支部受験者40名（当日棄権1名含む）の参加で開催しました。

本認定会は新型コロナウイルスが第5類となった事から有観客で実施、気温30度を越える猛烈な残暑の中での開催でもあり空調完備の大会議室を試技者・応援者の待機所とし試技中の自己持参熱中症器具



員議会議市明芳本岡るべのを辞祝



認定会風景

具の装着許可・個人持参飲料水の補給許可としての開催となりました。

開会式では、福田栃木県知事岡本市議会議員より蕎麦による地域活性化に期待するとの挨拶を頂きました。

審査員の計らいで試技中の自己持参熱中症器具の装着許可・個人持参飲料水の補給許可もあり、多汗で思うような試技が出来なかった方が多かったとは言え、体調を崩した方もなく無事終了しました。

蕎麦を打つには決して適切とは言えない高温多湿の環境の中、合格率 51.3%、受験者 40名（当日棄権1名含む）、合格者20名でした。



認定書交付をする芳田支部長

（東日本支部事務局長 工藤 勉）

人材育成研修

令和5年度の新規事業として、各支部から推薦された16名により、全麵協の次世代を担う人材を育てるため研修会を本部事業として実施しています。

7月7・8日と東京で「全麵協運営の現状を知る」・「今後の全麵協を考える」をテーマに集合しての研修をスタートさせ、これまでに8月28日にリモート研修、9月10日に東京での集合研修を行っています。

今後は3つのワーキングチームに分けて、①段認

定事業以外の柱となる事業、②会員制度の改革案、③全麵協の運営組織の在り方の3つの課題について検討会を2回開催し、12月に報告会を開催する予定です。

推薦された皆さんは研修会の都度積極にご自分の考えを発表され、人材研修としての成果が期待できます。

（事務局長 原秀夫）

「第1回全麵協そば道五段位全国大会in東京」のお知らせ

と き 令和5年11月8日(水曜日)

ところ 東京都産業貿易センター浜松町館

〒105-7501 東京都港区海岸1-7-1 東京ポートシティ竹芝 4F展示室

一般社団法人全麵協
設立30周年記念事業

第一回全麵協
そば道五段位
全国大会in東京

期日 令和5年11月8日(水)
午前10時20分競技開始
(9時開場)

会場 東京都立
産業貿易センター
浜松町館・4階展示室

そば打ちの技を、
こころゆくまで

入場無料

ご来場者には、
生そばを
プレゼント!
(限定200パック)
(3食入)




【タイムテーブル】(予定)

11月8日(水)

8:45 受付開始

9:15 説明会・開会式

10:00 第1組準備

10:20 第1組競技開始

11:05 第1組競技終了

11:05 選手インタビュービデオ撮影
(40名=1分間)

12:00 昼食

12:45 第2組準備

13:05 第2組競技開始

13:50 第2組競技終了

13:50 選手インタビュービデオ撮影
(40名=1分間)

～審査～

15:30 表彰式

講評

結果発表

表彰状授与

閉会の挨拶

16:00 撤収 清掃

17:00 解散

全麵協ニュースフラッシュ編集グループ

編集責任者 赤羽章司

編集主任 原秀夫

チーム員 山本良明 萩原敏彦 横田節子

皆様からの情報提供をお待ちしています。